

創立100周年に向けて

For The Future

本社事業所の再編について

当社は2015年に迎える創立100周年に向け、創立の地である本社事業所の再編を行っています。

事業所全体を「ロボット村」と位置づけ、本社棟、一般公開ゾーン、ロボット工場などのエリアに分かれています。

本社棟などの建て替えを行うと同時に、一般公開ゾーンとして緑地帯「YASKAWAの森」を整備し、将来の夢を感じられるロボットや最新の産業用ロボットなどを展示するゲストエリアも建設中です。このゲストエリアは、来年夏頃のオープンを目指し、一般の方にもお楽しみいただけるように準備を進めています。

また、ロボット工場は、昨年11月には第2工場を新たに建設しました。これまで分散していたクリーンロボット関連工場を集約し、半導体・液晶パネル市場向けのほか、食品・薬品・化粧品用途向けのロボット生産を行っています。

生産設備の再編・増強により、さらなる生産性向上を図るとともに、創立100周年をきっかけにお客様や学校・研究機関、地域の方々など社外の皆様により一層親しんでいただける事業所を目指し取り組んでいきます。



本社棟
(イメージ)



ゲストエリア
(イメージ)

■ お問い合わせ先：人事総務部 TEL 093-645-8801 FAX 093-631-8837

陸上部 NEWS

<http://www.yaskawa.co.jp/activities/track-field/index.html>

4月から6月にかけてはトラックシーズンでしたが、今シーズンは故障者が多かったため、大会への出場選手は数名に限られました。

そのような中で、2月に別府大分毎日マラソンの出場を見送った黒木文太選手が、ワルシャワマラソンで11位と健闘。海外のフルマラソンを無事に走りきることができました。その後も黒木選手は九州実業団陸上の10000mや鞘ヶ谷記録会の5000mなどで好タイムを記録するなど安定感を増してきました。

チームの柱へと成長した久保田大貴選手は、トラックシーズンの開幕となる選抜陸上中長距離熊本大会において、5000m1組に出場。熊本県は久保田選手の地元であるため会場の声援も多く、その中で勝負を意識した走りに徹しました。その結果、ラスト勝負の混戦から抜け出し3位でフィニッシュしました。



積極的にレースに出場した野本大喜選手

実業団2年目となる野本大喜選手は、最も多くのレースに出場するというスタミナを見せました。ほぼ

2週間に1度の割合で5000m、10000mに出場し、スピードが足りないながらも「大会に出場する」という、選手としてもっとも大事なことを実践しました。

この夏、選手は冬のシーズンに向けて走りこみを行います。多くの選手が故障から復調し、万全の状態走り披露できるよう、応援をよろしくをお願いします。

◆ 2014年4月～2014年6月の主な戦績

日程	大会名	成績
4月 5日	選抜陸上中長距離 熊本大会	5000mの1組で久保田選手3位。
4月 13日	ワルシャワマラソン	黒木選手11位。
5月 17日	九州実業団陸上競技	1500mで松山選手、4位。5000mで7位。
18日	選手権大会	10000m1組で野本選手6位。 10000m2組で黒木選手2位。 10000m3組で久保田選手19位。
5月 31日	鞘ヶ谷記録会	5000m14組で野本選手7位、松山選手14位。 16組で黒木選手14位、久保田選手19位。

選手の声：

私にとって実業団1年目は、結果を残せない歯痒さと苦しさだけが残る年でした。2年目となる今年は、結果にこだわり春のトラックシーズンに取組みました。納得できる結果は残せませんでしたが、レースを重ねる毎に復調を実感しています。レースも一段落し、今後は駅伝に向けての強化期間に移ります。駅伝を任せてもらえるだけの走力を身に付け、会社やチームに貢献できる選手に成長したいと思いますので、応援のほどよろしくお願いします。

野本 大喜